

科目名	ルータ実習 3							年度	2026
英語科目名	Router Course 3							学期	後期
学科・学年	ネットワークセキュリティ科 2年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	魚住	教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア		
<b>【科目の目的】</b> ネットワーク接続機器のデファクトスタンダード（業界標準）として使用されているシスコシステムズ社のルータやスイッチを実際に使い、目的・用途・規模などに合ったネットワーク構築を行うことにより、適切な機器の設定や運用管理ができる技術の習得を目的とする。今回の実習では特に、シスコ製品（ルータとスイッチ）のネットワーク規模に応じたIPv6を含むルーティングプロトコルの設定やルータを冗長化してネットワークの信頼性を高める設定ができるようになることを目的とする。									
<b>【科目の概要】</b> ルータ実習1、2で学んできた知識や技能をベースに、引き続きシスコ製品（ルータ・スイッチ）を用いて特徴と操作方法を学ぶ。ルータ実習3では、WANのデータ通信やネットワーク規模に応じたIPv6を含むルーティングプロトコルの設定方法、ルータを冗長化（HSRP）してネットワークの信頼性を高める専門性を身に付けるため、実機を使った学習方法で講義する。									
<b>【到達目標】</b> A. ルータ、スイッチの接続、基本設定、IPアドレスの設定ができる B. RIP、OSPF、EIGRPルーティングの設定ができる C. 異なるルーティングプロトコル間の再配布の設定ができる D. ルータの冗長化HSRPの設定ができる									
<b>【授業の注意点】</b> 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。また遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。科目「ネットワーク応用」の授業と関連性をもって学習すること。ネットワーク機器は丁寧に取り扱い扱うこと。試験は定期試験（実技テスト）を実施する。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験結果に関わらず不合格となる。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	到達目標が全て設定できて、優れている	到達目標の設定が半数以上できて良い	—	到達目標の設定が半数以下で、あと少しの努力	到達目標の設定が全くできず、要努力				
到達目標 B	到達目標が全て設定できて、優れている	到達目標の設定が半数以上できて良い	—	到達目標の設定が半数以下で、あと少しの努力	到達目標の設定が全くできず、要努力				
到達目標 C	到達目標が全て設定できて、優れている	到達目標の設定が半数以上できて良い	—	到達目標の設定が半数以下で、あと少しの努力	到達目標の設定が全くできず、要努力				
到達目標 D	到達目標が全て設定できて、優れている	到達目標の設定が半数以上できて良い	—	到達目標の設定が半数以下で、あと少しの努力	到達目標の設定が全くできず、要努力				
到達目標 E	—	—	—	—	—				
<b>【教科書】</b> CCNA完全合格テキスト&問題集 対応試験200-301（翔泳社）									
<b>【参考資料】</b> 配布資料PDFデータならびに関連Webサイトの参照									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 積極的な授業参加度、授業態度と試験と課題を総合的に評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ルータ実習3			年度	2026
英語表記		Router Course 3			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	OSPF設定(1)	ルーティングプロトコルのOSPFシングルエリアの設定を学ぶ	1 特徴	OSPFシングルエリアの特徴が理解できる	2	
			2 設定	OSPFシングルエリアの設定ができる		
			3 検証	OSPFルート情報の検証ができる		
2	OSPF設定(2)	ルーティングプロトコルのOSPFマルチエリアの設定を学ぶ	1 特徴	OSPFマルチエリアの特徴が理解できる	2	
			2 設定	OSPFマルチエリアの設定ができる		
			3 検証	OSPFルート情報の検証ができる		
3	EIGRP設定	ルーティングプロトコルのEIGRPの設定を学ぶ	1 特徴	EIGRPの特徴が理解できる	2	
			2 設定	EIGRPの設定ができる		
			3 検証	EIGRPルート情報の検証ができる		
4	再配送(1)	OSPFとRIPの異なるルーティングプロトコル間の再配送を学ぶ	1 プロトコル設定	OSPFとRIPのプロトコル設定ができる	2	
			2 再配送設定	異なるプロトコル間の再配送の設定ができる		
			3 検証	ルート情報の検証ができる		
5	再配送(2)	OSPFとEIGRPの異なるルーティングプロトコル間の再配送を学ぶ	1 プロトコル設定	OSPFとEIGRPのプロトコル設定ができる	2	
			2 再配送設定	異なるプロトコル間の再配送の設定ができる		
			3 検証	ルート情報の検証ができる		
6	実技模擬テスト	実技テストに向けて模擬テスト問題に取り組む	1 模擬問題	実技テストの模擬問題に取り組む	2	
7	実技テスト1	各種ルーティングプロトコルの実技テストを行う	1 実技テスト	再配送までの実技テストを行う	1	
8	IPv6 ルーティングプロトコル	IPv6に対応したルーティングプロトコルの設定を学ぶ	1 RIPng設定	IPv6対応のRIPng設定と検証ができる	2	
			2 OSPFv3設定	IPv6対応のOSPFv3設定と検証ができる		
			3 EIGRPforIPv6設定	IPv6対応のEIGRPforIPv6設定と検証ができる		
9	WAN設定	PPPのPAPとCHAPおよびフレームリレーの設定を学ぶ	1 特徴	PPPの特徴が理解できる	2	
			2 設定	PPPのPAP, CHAPの設定ができる		
			3 検証	PPPのPAP, CHAPの検証ができる		
10	EtherChannel設定	スイッチ間を複数のLANケーブルで接続しリンクを束ねる設定を学ぶ	1 特徴	EtherChannelの特徴が理解できる	2	
			2 設定	EtherChannelの設定ができる		
			3 検証	EtherChannelの検証ができる		
11	HSRP設定	ルータがダウンした時の冗長化とロードバランスの設定を学ぶ	1 特徴	HSRPの特徴が理解できる	2	
			2 設定	HSRPの設定ができる		
			3 検証	HSRPの検証ができる		
12	実技模擬テスト	実技テストに向けて模擬テスト問題に取り組む	1 模擬問題	実技テストの模擬問題に取り組む	2	
13	実技テスト2	HSRPの設定を中心とした実技テストを行う	1 実技テスト	総合的な実技テストを行う	1	
14	IPv6再配送	IPv6 ルーティングプロトコル間再配送の設定を学ぶ	1 OSPFv3-RIPig	OSPFv3とRIPigの再配送の設定ができる	2	
			2 OSPFv3-EIGRP for IPv6	OSPFv3-EIGRP for IPv6の再配送の設定ができる		
			3 検証	ルート情報の検証ができる		
15	VPN設定	VPNネットワークの設定を学ぶ	1 特徴	VPNの特徴が理解できる	2	
			2 設定	VPNの設定ができる		
			3 検証	VPNの検証ができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった  
備考 等